

2025年11月14日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、「地域の活力となり、人々に貢献し、喜ばれる J A」の経営理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・地域社会に貢献するため、質の高いサービス（金融・共済・購買等）を提供し、あらゆるニーズにお応えするための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

グリーン大阪農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

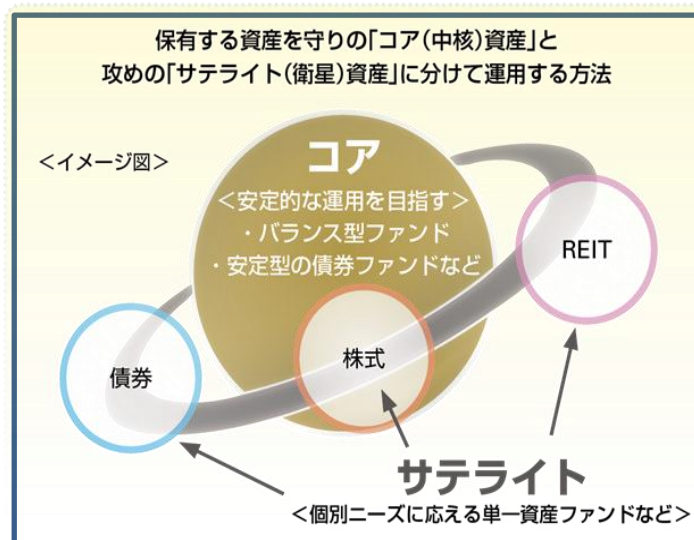
- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	9 (前年度末：9)
株式型	6 (前年度末：6)	7 (前年度末：7)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	11 (前年度末：11)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>



※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまの生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は、令和6年度では95.5%となっており、高水準を維持しております。
- なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

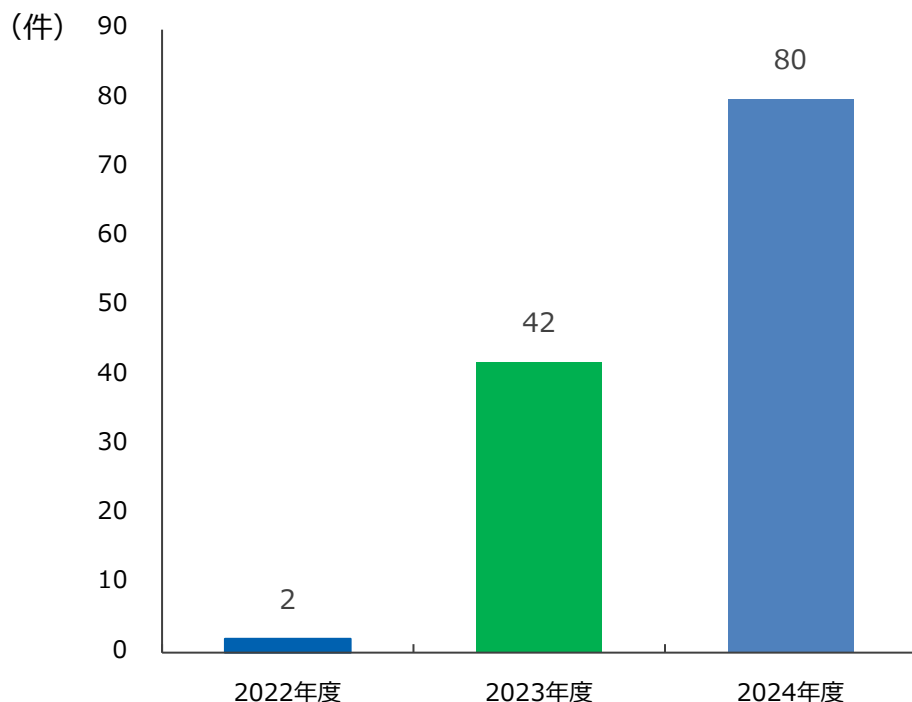
I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

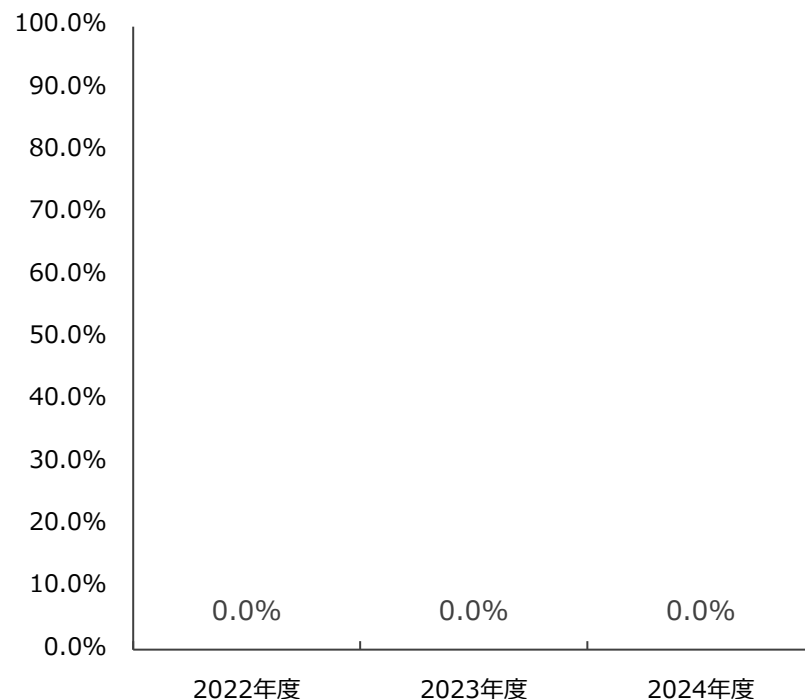
【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1 ～ 5）、
原則 6 本文および（注 1 ～ 7）】

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しました。前年に引き続き、「毎月分配型ファンド」を新たに選択される方はいませんでした。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



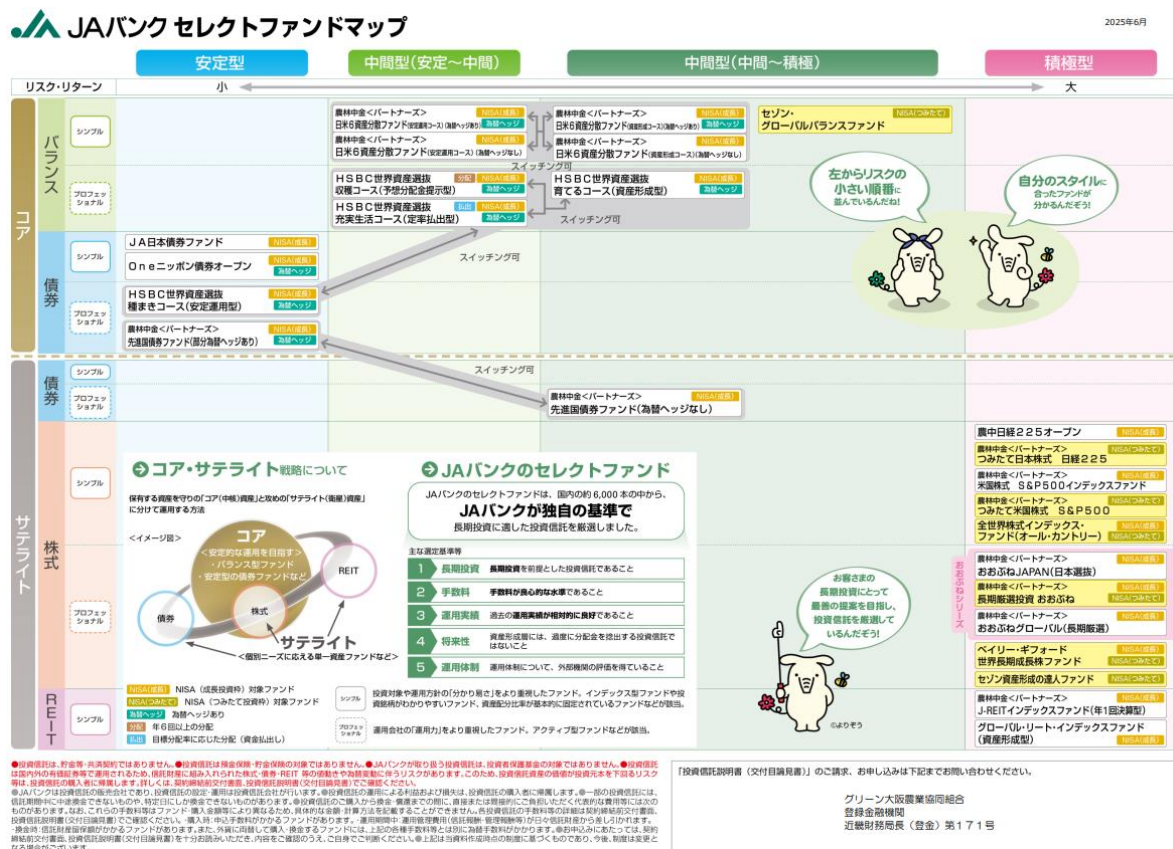
I. 取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

（１）信用の事業活動

- ・ 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- ・ なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

① 共済仕組み・サービスのご提案

- ・ ライフプランやニーズに合った共済にご加入いただけるよう、組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握したうえで、最良・最適な共済仕組み・サービスをご提案しております。

② 情報提供

- ・ 各種公的保険制度の情報提供を行うとともに、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

③ 契約締結時の対応

- ・ タブレット端末機「Lablet's（ラブレッツ）」を活用し、ご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

④ 高齢者対応

- ・ ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはご家族の同席等を徹底するなどきめ細やかな対応を行っております。
- ・ 高齢者対応における親族等の同席・電話等確認の割合は、令和6年度は84.8%となりました。

⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- ・ ご加入後も、3Q活動を通じて共済金の請求忘れの確認をするなど組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
- ・ 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等にご負担いただいております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理【原則3本文および（注）】

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、利益相反管理方針に基づき、適切に管理しております。
- 営業部門から独立した総務企画部を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型
（例：抱き合わせ販売や優越的地位の濫用等に該当する取引を行う場合）
 - ②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引
（例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合）
- 利益相反管理方針および当方針を踏まえた内部規則等の研修を実施し、役職員へ利益相反管理について周知徹底を図っています。

I.取組状況

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

① 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまの多様なニーズに対応するため、人材育成基本方針に沿って、「知識力」・「対話力」・「創造力」・「行動力」のある「自律型職員」の育成を図り、事業活動を通じて組合員から「ありがとう」と言われる職員を目指し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。
- お客様への適切な提案に資する高度な専門性を有する職員育成のため、各種研修会の受講並びに資格取得を推奨しています。

＜各種試験有資格者・認定者数＞

証券外務員1種	内部管理責任者 （管理職）	FP技能士 （3級以上）	ライフアドバイザー	スマイルサポーター （共済担当者）
188名	78名	152名	161名	32名

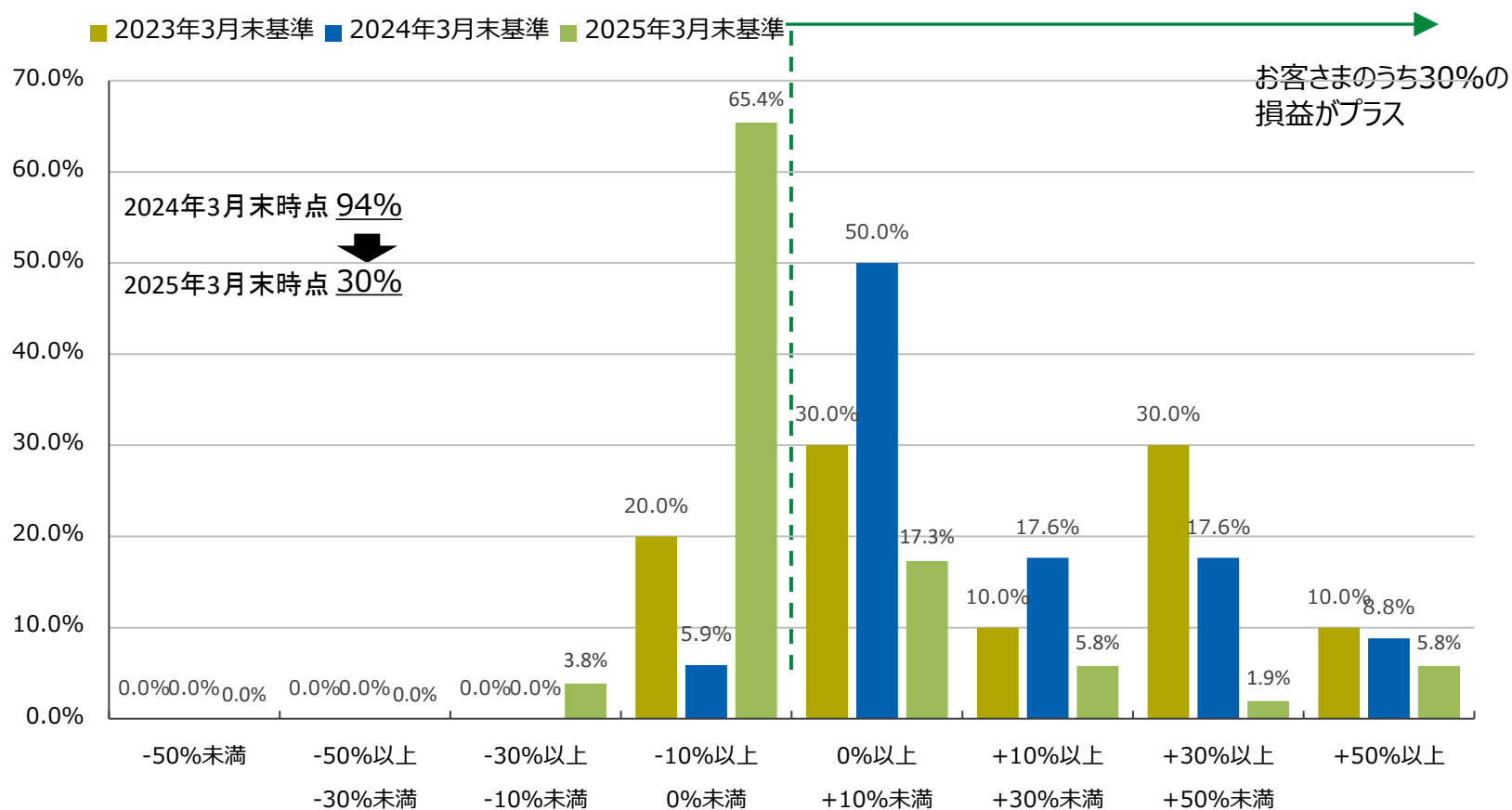
② 組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

- 組合員・利用者の皆さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談・ご要望・苦情など）」を誠実に受け止め、お客様により一層ご満足いただけるよう、業務改善に活用します。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では以下の通りとなりました。

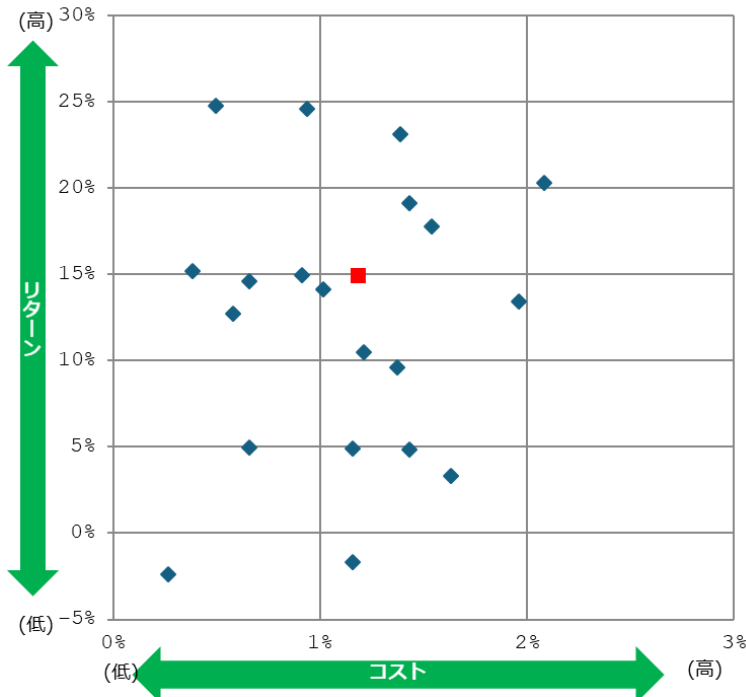


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

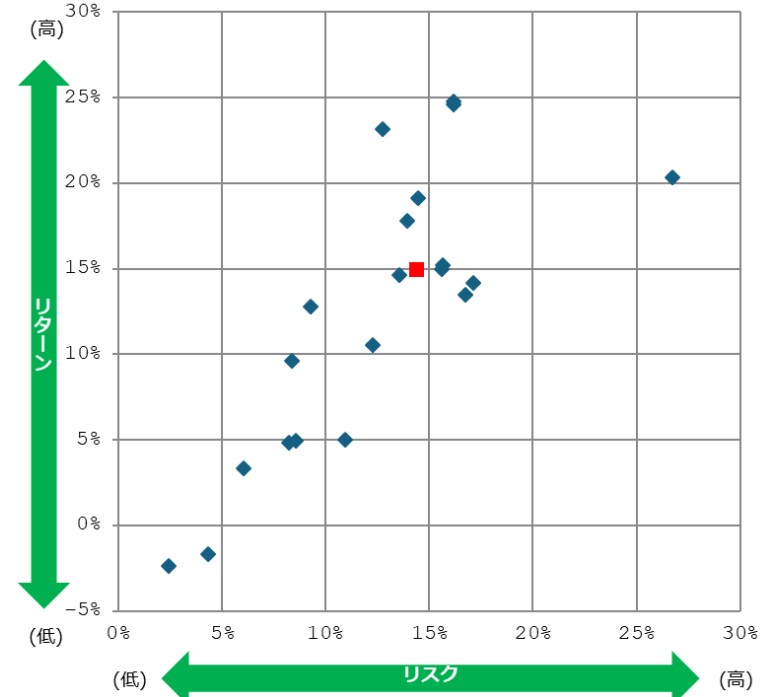
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.18%、平均リスク14.37%に対して、平均リターンは14.96%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



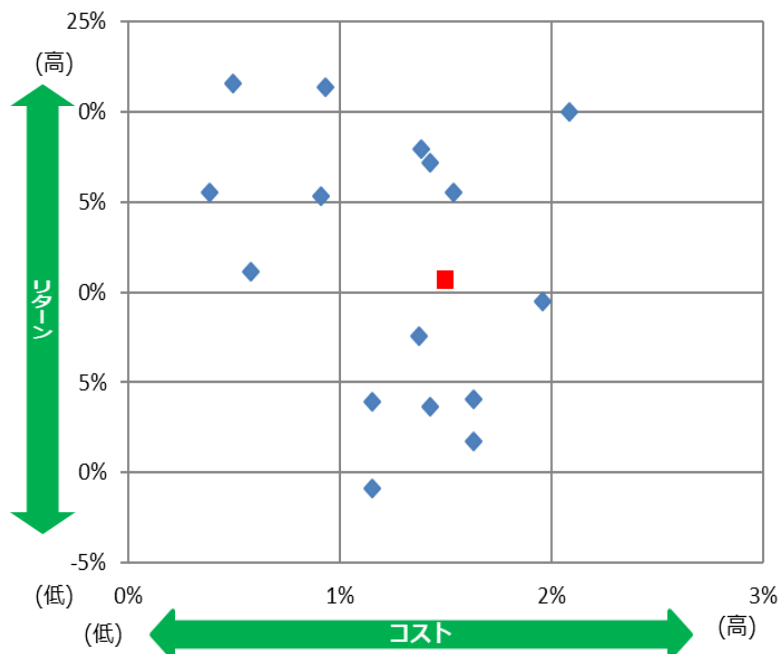
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

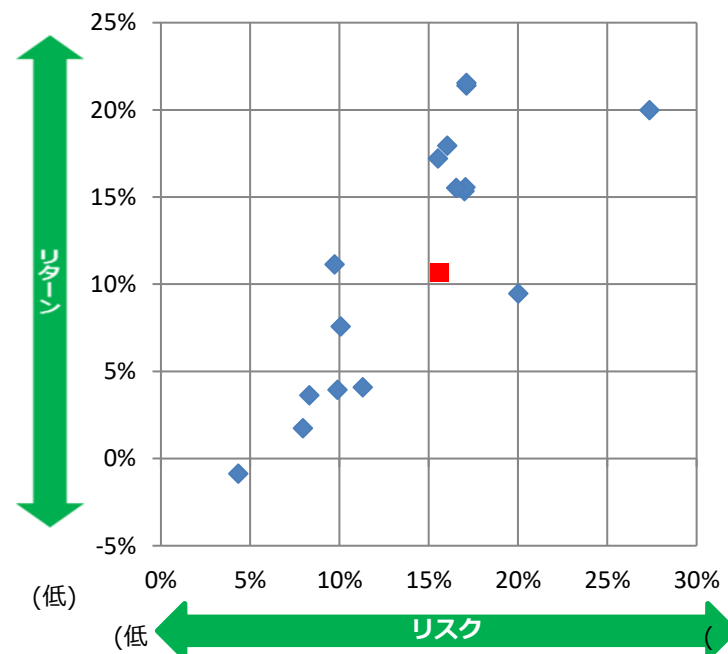
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.50%、平均リスク15.61%に対して、平均リターンは10.68%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



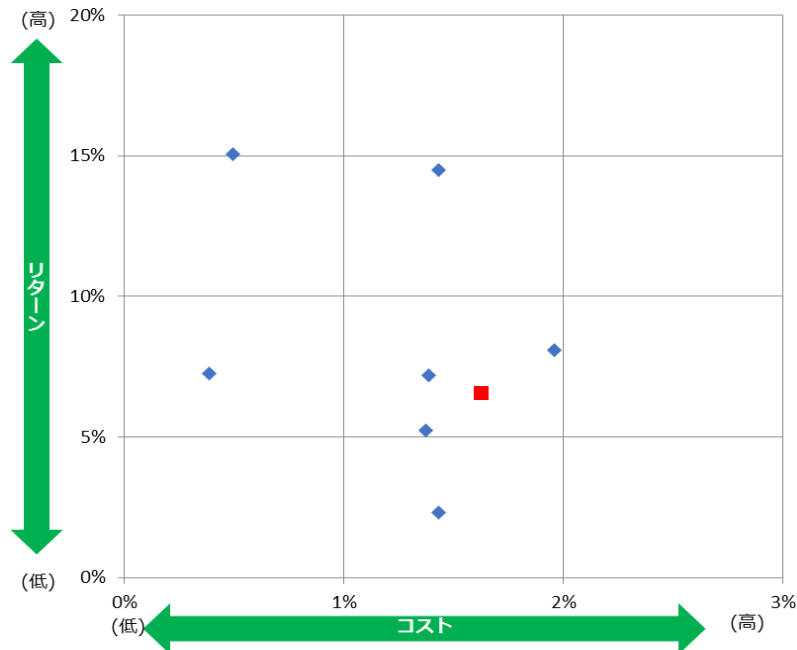
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

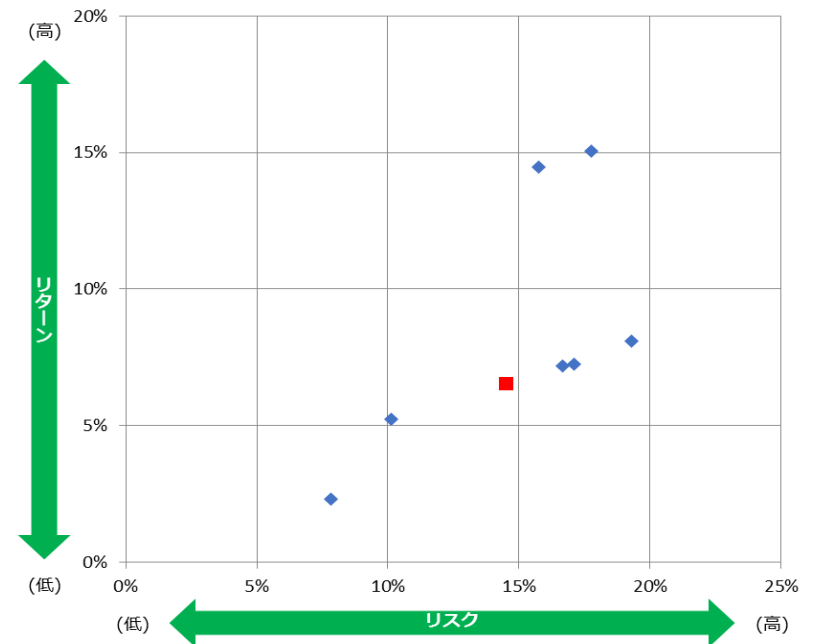
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.63%、平均リスク14.51%に対して、平均リターンは6.55%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	14.63%	13.58%	0.66%
2	ダイワ・グローバル R E I T ・オープン	大和アセットマネジメント（株）	13.46%	16.74%	1.96%
3	世界の財産 3 分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	9.60%	8.39%	1.38%
4	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
6	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
7	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	20.35%	26.74%	2.08%
8	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne（株）	4.84%	8.22%	1.43%
9	つみたて日本株式 日経 2 2 5	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
10	農中日経 2 2 5 オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
11	おおぶね J A P A N（日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	10.52%	12.27%	1.21%
12	日米 6 資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.93%	8.59%	1.16%
13	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	12.76%	9.29%	0.58%
14	N Z A M日本好配当株オープン 3 カ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	23.13%	12.77%	1.39%
15	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型） 世界のやどかり	大和アセットマネジメント（株）	14.15%	17.14%	1.02%
16	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	17.77%	13.93%	1.54%
17	HSBC世界資産選抜 収穫コース（予想分配金提示型）	HSBCアセットマネジメント（株）	3.35%	6.05%	1.63%
18	J - R E I T インデックス（年1回決算型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.99%	10.96%	0.66%
19	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.36%	2.41%	0.26%
20	日米 6 資産分散ファンド（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.66%	4.34%	1.16%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		14.96%	14.37%	1.18%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	9.47%	20.01%	1.96%
2	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
3	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	3.64%	8.31%	1.43%
4	ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
5	農中日経225オープン	農林中金全連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
6	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
7	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
8	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全連アセットマネジメント(株)	17.95%	16.04%	1.39%
9	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
10	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
11	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
12	HSBC世界資産選抜 収穫J-1(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
13	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
14	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
15	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
16	HSBC世界資産選抜 育てるJ-1(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.68%	15.61%	1.50%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は16本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
2	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
3	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.31%	7.81%	1.43%
4	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.20%	16.67%	1.39%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
6	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
7	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.55%	14.51%	1.63%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は7本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。